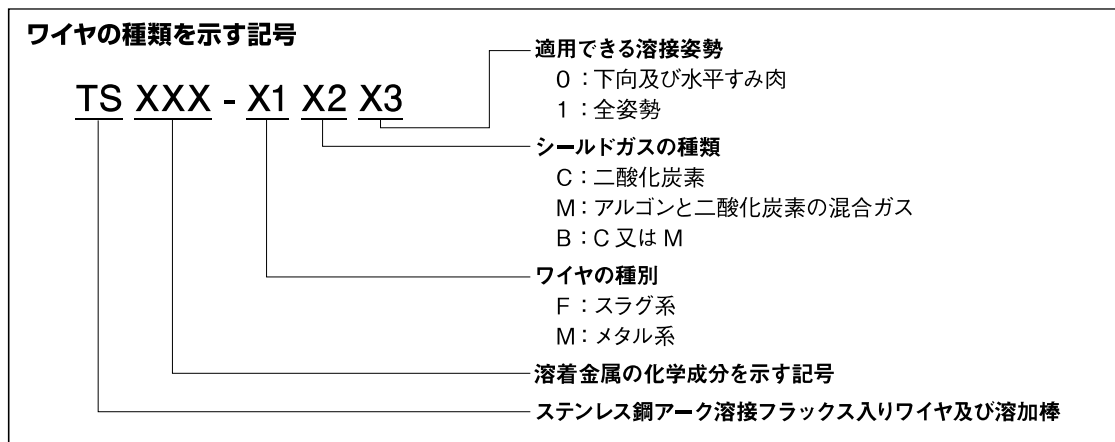


# ステンレス鋼フラックス入りワイヤの JIS 改正について

富津研究所 課長代理研究員 水本 学

市場の活性化、貿易の自由化を目的に、国内規格や技術標準の国際統合が進められています。日本工業標準調査会 標準部会では、2001年に標準化戦略を策定し、ISO (International Organization for Standardization) と JIS (Japanese Industrial Standard) の統合を促進することとなりました。溶接材料の JIS については、当社も委員とし

て参画し、(社)日本溶接協会にて改正が推進されています。今回、溶接材料として初めて ISO に整合し、2007年4月に改正されたステンレス鋼フラックス入りワイヤの JIS について、その変更の概要を紹介します。当社製品は、2007年7月生産分より、ISO に整合した改正 JIS 対応を行なっています。



## ■ JIS Z 3323 改正のポイント ■

区分	従来	改訂後	
規格名称	ステンレス鋼アーク溶接フラックス入りワイヤ	ステンレス鋼アーク溶接フラックス入りワイヤ及び溶加棒 ・溶加棒が追加	
ワイヤの種類を示す記号	例：YF309MoLC	例：TS309LMo-FB0 ・YF から TS へ変更 ・Mo の位置が L のうしろへ変更 ・スラグ系又はメタル系の種別が追加 ・シールドガスの種類記号が変更 ・溶接姿勢が追加	
溶着金属	化学成分	不純物成分の分析規定なし	Mo 及び Cu の分析が規定された
	引張性能	引張試験片：A1 号	引張試験片が A0 号に変わり(平行部径が細く変更)、伸びの規定が変更(5% 低く変更されたものが多い)された
	曲げ試験	縦表曲げ試験を実施	規定なし
	腐食試験	硫酸・硫酸銅腐食試験を実施	規定なし
すみ肉試験	規定なし	全姿勢溶接用のワイヤに規定された	

## ■主要銘柄のワイヤの種類を示す記号■

銘柄	従来	改訂後
☉SF-308L    ☉FC-308L	YF308LC	TS308L-FB0
☉SF-308LP	YF308LC	TS308L-FB1
☉SF-309L    ☉FC-309L	YF309LC	TS309L-FB0
☉SF-309MoL    ☉FC-309MoL	YF309MoLC	TS309LMo-FB0
☉SF-316L    ☉FC-316L	YF316LC	TS316L-FB0

参考文献：溶接技術 2007 年 5 月号 溶接材料規格の動向 —国際統合に基づく JIS 改正—